

# 平成30年9月三木市教育委員会（定例会）会議録

## 1 開催日程

- (1) 開 会 平成30年9月19日（水）午後3時00分  
(2) 閉 会 平成30年9月19日（水）午後4時30分

## 2 場 所 三木市役所 5階 大会議室

## 3 議事日程

- 第1 会議録署名委員の指名について  
第2 会議録の承認について  
第3 会議の非公開の決定について  
第4 第4号議案 平成29年度の三木市教育委員会の事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書について  
第5 報告事項 みき歴史資料館協議会委員の委嘱について  
第6 報告事項 各課の所管事項について  
第7 次回定例会の開催日程について  
第8 その他

## 4 出席者

教 育 長	西 本 則 彦
委 員	井 口 徹
委 員	石 井 ひろ美
委 員	浦 崎 秀 一
委 員	大 北 由 美

## 5 欠席者 なし

## 6 事務局出席者

教 育 総 務 部 長	石 田 英 之
教 育 振 興 部 長	奥 村 浩 哉
教 育 振 興 部 次 長	岩 崎 恵
教 育 総 務 課 長	五 百 蔵 一 也
教 育 施 設 課 長	長 池 陽 作

文化・スポーツ課長	森 本 雅 彦
学校教育課長	生 田 淳 仁
教育センター所長	大 東 豊
教育・保育課長	正 心 均
生涯学習課長	近 藤 豊
図書館長	伊 藤 真 紀
子育て支援課長	井 上 典 子
人権推進課長	辻 田 政 顕
教育総務課係長	能 出 真 一
教育総務課	澤 田 静 香

7 傍聴者 なし

\*\*\*\*\*

開 会

教育長が、平成30年9月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

\*\*\*\*\*

日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長が、三木市教育委員会会議規則第28条の規定により、本日の会議の会議録署名委員に、浦崎委員と大北委員を指名した。

日程第2 会議録の承認について

教育長が、平成30年8月定例会（17日開催）の会議録について委員に諮り、全員一致で承認された。

日程第3 会議の非公開の決定について

教育長が、議事の進行について委員に諮り、公開で審議することを決定した。

日程第4 第4号議案 平成29年度の三木市教育委員会の事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書について

○五百蔵教育総務課長が次のように説明した。

前回 8 月定例会で協議いただき、その際のご指摘をもとに修正した。主な修正箇所について説明させていただく。

点検・評価報告書の「はじめに」の 2 ページ目「生き生き」を平仮名の「いきいき」に修正した。これは、「三木市スポーツ振興ビジョンの目標」と「総合体育館建設基本計画の基本理念」のフレーズを引用しているため、いずれも平仮名となっていることから、この表記に合わせた。報告書の 18 ページ「(イ) 監査対象数及び監査方法」は、文章表現を精査し、同じ言葉を重複して使用していた箇所を修正した。最重要監査事項の 4 点目に「法人と施設の組織的な運営チェック体制を確立すること」を追加した。

報告書の 26 ページのいじめについての記載が、前回、いじめの件数が増えたと受け取れる表現があるとの指摘を受け、7 行目から文章を修正した。なぜ認知件数が増えたのかという経緯についても、「県の方針を受け」と追加し、それを受けて各学校に指導したことにより、三木市のいじめに関する認知件数が増加した旨の表現に修正した。

報告書の 34 ページの特別支援教育における「個別の指導計画」及び「個別の教育支援計画」について、正確な表現に修正するとともに、それぞれの計画について、注釈を追加した。

報告書 36 ページの 4 行目「学校力」という言葉を使わずに、より分かりやすい表現に改めた。

「ア 小規模校のメリットを生かした教育活動の推進」については、小規模校の良さを全面的に肯定するのではなく、課題も残っている旨、意見を含め記載した。

その他、網掛け部分については、全体を通して文章表現を事務局で再確認し、適切な表現に改めた。

今回は、71 ページ以降に外部評価者の評価を追加した。外部評価者は、京都教育大学教授 竺沙知章先生、兵庫教育大学教職大学院元教授 廣岡徹先生に依頼した。評価の内容として、目標達成への課題で数点ご指摘をいただいたが、三木市教育振興基本計画については、着実に推進しているとの評価をいただいている。

(近藤生涯学習課長) 50 ページ「(指標) 生涯学習講座参加人数及び高齢者大学・大学院学生数」について、公民館生涯学習講座の参加人数の平成 29 年度の実績が 23,905 人となっているが、27,

116人に訂正する。あわせて数値目標における課題と今後の成果についての評価も、「生涯学習講座参加者人数について平成28年度より若干参加人数が減となりましたが」とあるが、「平成28年度より参加人数が増となりました。」と訂正する。参加者数については、平成28年7月に福井コミュニティセンターが新たに開設され、卓球、ヨガ、囲碁などの専門教室生の増加が要因と考えられる。

(西本教育長) 29年度の実績が、目標値を超えることになるが、目標値を設定した際の母数に福井コミュニティセンターは含まれていなかったのか。

(近藤生涯学習課長) 目標値の設定は、教育振興基本計画を策定した平成28年12月であるため、福井コミュニティセンターの利用者数は見込んでいない。設定された目標値は、次回見直しの際に、福井コミュニティセンターの利用者数も含めた上で計画を修正したいと考えている。

(石井委員) 目標を設定した時の数値に福井コミュニティセンターの数値が含まれていないのであれば、注釈が必要であるし、表や評価の内容が変わってくるのではないかと。今まで近隣に活動する場がなかったが、すぐ近くに開設され、今まで行けなかった方々の利用が増えたとは考えられないか。利用しやすい環境になったことを書き加えると、説得力が増すのではないかと。

(大北委員) 平成28年度に福井コミュニティセンターが開設され、時間の経過とともに、さらに講座内容が充実し、大幅に利用が増え、実績が目標値を上回ったと記載すべきである。

(西本教育長) 本日、議決いただくので、その方向で事務局で調整させていただきたい。今回は評価者の意見もあるので、何かあればお願いしたい。

(浦崎委員) 72ページの竺沙先生の評価の「確かな学力」の向上の、「全国平均を下回る傾向が続いている。その中で、正解率の低かった問題を中心とした指導のポイントを示すなど、児童生徒の課題に

即した対応策が進められており、重要な課題である。」の部分で、低かった問題を中心として弱いところを改善することは、評価できる点だと思われるが、「課題である」という表現には、どういう意図があるのか。

(西本教育長) 事務局で竺沙先生(外部評価者)に、表現あるいは意図を確認し、修正する場合は、表現を十分に精査して欲しい。

(大北委員) 24ページ下から3行目「確保ました」の「し」、32ページの「イ 三木市教育支援委員会」の一番下の「慎重に審議して行きます」の「行く」は平仮名の「いく」、33ページ「オ 特別支援教育研修会」の「延べ313人の参加が」とあるが、三木特別支援学校研修会と県立特別支援センター研修講座を合計した数字であるので、特別支援教育研修会への参加状況の表では両方を合わせると「延べ350人の参加が」になる。52ページ6行目「今後の課題として」の「課題」は、「取組」の方が良いと思う。57ページの「創作劇を製作し」は「制作」とすべきである。2人の先生の評価については、よく考察いただき、感銘を受けた。点検評価報告書以外にも、資料の提供をしているのか。

(五百蔵教育総務課長) 平成29年度の教育委員会の議事録を送付している。その他にも、教育振興基本計画や教育の基本方針なども確認していただいている。

(井口委員) 評価とは批判ではない。今まで課題や指摘事項を謙虚に受け止め、次年度の目標として活動しているが、私たちの活動に対し、良いところがあれば褒めていただきたい。

(大北委員) 75ページ(3)開かれた学校園づくりの推進については、評価項目が間違っているような指摘を受けている。人権教育の充実や、児童生徒や保護者のアンケート数値が良くなることが「開かれた学校園づくり」と直結はしない。各学校、園の方で評価書を作成しており、その中に「開かれた学校」の項目があると思うが、その項目について着目し、来年度は評価していくべきと考える。

(西本教育長) 数値目標は、教育大綱、教育振興基本計画にも繋がっており、この数字を変えることは難しい。しかしながら、この数値だけで「開かれた学校園づくり」を評価をすることに対する指摘であるので、来年度以降の課題として検討願いたい。

(石井委員) 学校の中での様々なことを保護者などにオープンにすることが「開かれた学校園づくり」の概念であると思う。着眼点の違う先生方の評価の両方が伴ってこそ、評価ができるのではないかと考える。次回から見直すのであれば、「開かれた学校園づくり」そのものの考え方を示して欲しい。

(奥村教育振興部長) 計画策定当時に、保護者の期待に沿った特別支援教育を推進していた中で、学校の果たすべき役割を考えた時に、特色ある開かれた学校園づくりを推進する指標として、人権教育と特別支援教育を選択したと考える。今回は、このままにしておくべきと考える。

(大北委員) 「開かれた学校園づくり」を学校関係者評価のみで評価することは偏りがあるため、学校通信やホームページの公開状況などの指標を挙げることもできるのではないか。

(西本教育長) 今年度の報告書については、教育振興基本計画との整合性もあるため、現状のままいくべきと考える。来年度の課題として所管課で検討を願う。

第4号議案については、今回いただいたご指摘をもとに、一部修正をした上で議決いただくということによいか。

(委員) 異議なし。

日程第5 報告事項 みき歴史資料館協議会委員の委属について（文化・スポーツ課）

○森本文化・スポーツ課長が次のように報告した。

三木市立歴史資料館規則（平成28年三教委規則第9号）第12条に基づき、6名を委嘱したので、三木市教育委員会の権限に属する事務の一部の教育長への委任等に関する規則（昭和59年三教委規則第

1号) 第2条第2項第5号の規定により報告する。任期は、平成30年8月1日から平成32年7月31日までの2年間である。

## 日程第6 各課の所管事項について

### (1) 教育施設課報告事項

○長池教育施設課長が次のように報告した。

学校施設整備工事等の進捗状況(9月6日現在)について、6月から進めていた学校施設長寿命化計画策定業務委託のうち、老朽化調査が、夏季休業期間中に完了した。現在、施設改修にかかるコストの積算業務に取り掛かっている。上の丸保育所耐震補強工事の補強部分の工事はすべて完了した。現在、内装工事を進めている。三木小学校とみなぎ台小学校の校舎トイレ改修工事は夏季休業期間中に完了した。

台風20、21号による学校施設の被害状況について、被害内容別に被害にあった校数を挙げている。今回の2つの台風により、多くの学校が被害を受けており、すぐに対応した分もあるが、費用が多くかかるため、予算の流用や補正予算などの対応も考えている。

### (2) 文化・スポーツ課報告事項

○森本文化・スポーツ課長が次のように報告した。

実施した事業として、デンソーテンバレーボールチームを招き、小中学校の児童生徒を対象にバレーボール選手強化練習会を開催し、参加者は100人であった。歴史講座「みき飛行場と赤とんぼ」を9月2日に開催し、参加者は23人であった。堀光美術館では、特別展説明会「上田桑鳩の作品解説」を9月8日に開催し、参加者は40人、特別展講演会「上田桑鳩の人と書」を9月15日に開催し、参加者は55人であった。

今後の予定事業として、みなぎの書道展審査を9月22日に吉川総合公園文化体育館で開催する。東はりまコーラス大会を9月23日に小野市うるおい交流館エクラで開催する。東はりま民謡大会を9月30日に加古川市民会館で開催する。みなぎの書道展を10月6日から14日まで開催する。表彰式は14日11時から行う。スナッグゴルフ講習会兼東・北播磨スポーツ推進委員女性会研修会を10月13日に三木ホースランドパークで実施する。企画展「志染町の遺跡」を9月22日から11月25日まで開催する。

### (3) 学校教育課報告事項

○生田学校教育課長が次のように報告した。

台風21号の接近により、第6回定例校園長会を中止した。校園長会の内容については、後日行われた中学校長研修会、小学校、特別支援学校の校園長研修会で資料配布と説明をして周知した。実施した事業として、英語暗唱大会を8月18日に、イングリッシュキャンプ(高学年)を8月20日に、第4回同和教育伝承講座を8月21日に実施した。学校再編について、地域部会を志染中学校区で8月30日に、星陽中学校区で9月3日に実施した。口吉川小学校と豊地小学校の自然学校を9月10日から14日まで実施した。カヌー体験が台風21号の影響により、芦屋マリンセンターが使用できず、神戸自然の家で実施した。全中学校の運動会・志染小中学校の合同運動会を9月15日に実施したが、三木中学校のみ運動場の状態が悪く1日順延し、9月16日に実施した。

今後の予定として、第7回定例校園長会を10月3日に開催する。9月22日に、春に実施した小学校を除く小学校で運動会を実施する。平田小は9月23日に実施する。自然学校を自由が丘東小学校が9月24日から28日まで実施する。中学校新人体育大会を9月末に開催する。小学6年生を対象に6フレンドリーウォークを10月2日に県立三木総合防災公園で開催する。小学校の修学旅行を記載のと通りの日程で実施する。学校再編の地域部会が吉川中学校区は9月28日に、星陽中学校区は10月1日に、志染中学校区は10月4日に実施する。

(井口委員) 英語暗唱大会について、詳細を聞きたい。

(生田学校教育課長) 対象は小学1年生から6年生までで、課題がいくつかあり、その中から子どもたちが選んで暗唱して覚えてきたことを披露する。三木高校の国際コースの生徒や主催の三木市国際交流協会と連携し、その場で審査を行い、表彰している。

### (4) 教育センター報告事項

○大東教育センター所長が次のように報告した。

教育センターの事業として、不登校対策適応教室事業は、現在中学生が11名在籍している。

今後の予定として、研修講座を4回実施する。適応教室活動として、

9月28日に兵庫教育大学のこどもフェスタに参加する。

青少年センターの事業として、ネット見守り隊報告会において問題事案はなかった。視察研修会の呑吐ダムへの参加者は38人で、そのうち適応教室の子どもの参加は5人であった。人の目の垣根隊意見交換会を9月5日に開催し、参加者は11人であった。補導委員会第4回役員会、深夜補導を9月7日に実施した。青少年健全啓発ポスター審査会を9月19日に実施し、110点の応募があった。

今後の予定として、補導委員会第11班（女性班）第2回打合せ会を9月21日に実施する。

#### (5) 教育・保育課報告事項

○正心教育・保育課長が次のように報告した。

実施した事業として、障がい者保育についてのキャリアアップ研修を8月18日に実施した。8月20日に3、4、5歳児、21日に0、1、2歳児を対象とした三木市教育・保育共通カリキュラム編集委員会を開催した。保育教諭採用試験（第2次試験）を実施し、合格者は3人であった。特定教育・保育施設の監査に関する研修会で、労務管理、セクハラ、パワハラ関係の研修を実施した。幼稚園職員研修会・専門研修講座を8月29日に実施し、参加者は43人であった。評価については、記載のと通りの日程で、エンゼル認定こども園、清心認定こども園、自由が丘認定こども園で実施した。保育者交流研修会を実施し、9月5日にあけぼの認定こども園で10人、9月14日に緑が丘東幼稚園で10人の参加があった。第6回三木市保育協会理事会を9月7日に実施し、参加者は19人であった。

今後の予定として、評価については記載の日程のとおり実施する。午前開催の園は、教育委員会の計画訪問を兼ねて実施する。第7回保育協会理事会を10月4日に実施する。幼稚園、保育所、認定こども園の運動会を記載の日程のとおり順次開催する。平成31年度認定こども園及び保育所の児童募集の用紙配布を市役所5階大会議室で10月6日に実施する。10月9日から11月16日まで教育・保育課と吉川支所で受付を実施する。平成31年度幼稚園の児童募集は、11月5日から16日に、それぞれの幼稚園で受付を実施する。

#### (6) 生涯学習課報告事項

○近藤生涯学習課長が次のように報告した。

実施した事業として、託児ボランティア養成講座を9月11日、18日に開催した。平成30年度近畿社会教育研究大会が9月7日に開催され、三木市から社会教育委員等が出席した。第71回三木市成人式第2回実行委員会を9月15日に開催した。今後の予定として、平成30年度第1回公民館運営審議会を9月28日に開催し、公民館活動の事業報告や実施内容について協議する。

公民館では、第36回別所町民ソフトボール大会を9月30日に別所町公民館で開催する。町民と町内の企業で働く人との交流事業として開催する。

(浦崎委員) 公民館事業は、職員の方々、各種団体及び組織が活動しており、それが町の活性化に繋がり、子育てや学校教育にも良い影響があるが、職員の事務作業量等に応じた適正配置は行われているのか。

(近藤生涯学習課長) 公民館の事業は、職員だけではなく、地域の方々と一緒にやる場合や、地域の方々が主体となってやる場合もあるため、現在の職員配置で妥当であると考えている。

(西本教育長) 今年の4月から、地域でできること、行政が行うこと、共同で行うことの区分けを進めているが、地域の実情もあり、すぐに改善や方向性を変えることは、難しいと考える。

#### (7) 図書館報告事項

○伊藤図書館長が次のように報告した。

実施した事業について、ぬいぐるみのおとまり会を8月18日に開催し、参加者は10人であった。一日図書館員は、吉川図書館が8月20日、青山図書館が8月21日に実施した。中央図書館は、台風のため延期し、参加者の都合にあわせて8月28日、29日の2日に分けて実施した。あべ弘士講演会応援企画・「おはなし会&工作☆あべ弘士スペシャル」は8月25日に実施し、参加者は24人であった。あべ弘士講演会～地球はどうぶつでいっぱい～は、9月9日に実施し、大人の参加者が多く130人であった。第1回図書修理教室を9月10日に実施し、参加者が7人であった。第2回目は9月24日に実施する。

今後の予定として、えいごのおはなし会を10月14日に吉川図書館お話コーナーで開催する。

日程第7 次回定例会の開催日程について

教育長が、次回の教育委員会定例会の開催予定日程について諮り、平成30年10月18日、午後3時から開催することを決定した。

\*\*\*\*\*

閉 会

教育長が、平成30年9月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。